



未来へつなぐ平和と歴史文化の発信

世界遺産登録30周年記念共同プロジェクト

【企業版ふるさと納税 寄附のご案内】

令和8年6月



一般社団法人
はつかいち宮島ツーリズム



目次

01	世界遺産としての価値と30周年の意義 1996年登録の背景と守り継がれた文化	2p
02	厳島神社 登録30周年記念 独自事業 夜間拝観、舞楽奉奏、ナイトツーリズム	4p
03	広島市・廿日市市 共同記念事業 二つの世界遺産の価値発信と誘客促進	5p
04	フランスプロモーション事業 パリやモン・サン＝ミッシェル市等とのPR交流	6p
05	「千年先もいつくしむ」持続可能な宮島へ 未来への投資：事業費内訳と企業のメリット	7p

01 /世界遺産としての価値と30周年の意義



1996年12月7日 世界遺産登録

平安時代から続く海上社殿建築と自然景観の融合が評価され、日本を代表する文化遺産として世界遺産に登録されました。登録から30年を迎え、その価値を再認識する節目の年となります。



国内外から500万人近くの人々が訪れる宮島を持続可能な観光地として後世に継承するため、宮島の普遍的価値や魅力を国内外に向けて発信していくほか、世界遺産登録30周年を記念した様々な事業を通じて、宮島の自然・文化・歴史的な意義と価値を理解し、深めていただけるよう、取り組んでまいります。

世界遺産30周年を彩る3大プロジェクト



01 / 厳島神社 独自記念事業

夜間拝観の延長や宝物展、奉祝舞楽、弥山修行等の精神文化を五感で楽しむプログラムを多角展開します。

- ・ 夜間特別拝観・宝物名品展
- ・ 弥山修行・宮島学講座
- ・ ナイトツーリズムの創出

ロープウェー夜間営業、宮島夜市開催



02 / 広島市・廿日市市 共同記念事業

原爆ドームと厳島神社の同時30周年を祝い、平和と歴史文化の価値を県内外・海外へ広く発信します。

- ・ 平和記念公園&宮島パネル展
- ・ 路面電車の車体ラッピング
- ・ 周遊デジタルスタンプラリー



03 / フランスプロモーション事業

フランスでの観光PRや友好提携を進め、2029年開業の平良丘陵での本格フレンチレストラン誘致等を推進します。

- ・ パリ等での観光プロモーション
- ・ モン・サン＝ミッシェル市との交流
- ・ 日仏交流ガストロノミーイベント

02 / 厳島神社 登録30周年記念 独自事業

歴史と信仰が織りなす神秘の神域。

これまで類を見ない豊かな体験価値の提供へ



厳島神社 特別行事

これまでにない特別な神事・
社宝公開を実施します。

- ・ 夜間特別拝観: 11-12月の指定期間
19:30まで門を延長
- ・ 宝物名品展: 厳選された貴重な社宝
特別公開(12/1-13)
- ・ 奉祝舞楽奉奏: 12/7高舞台での奉祝。
- ・ 管絃祭協賛: お供船や提灯行列



体験・学習プログラム

島の奥深さを五感で学び次代
に継承します。

- ・ 弥山修行体験: 満天の星空とご来光
を仰ぐ修行
- ・ 宮島学講座: 英語ガイド、植物・クラフト体験等
- ・ ぐるっと宮島再発見: 船での島内一周 & 裏側上陸ツアー



ナイトツーリズムの拡充

幻想的な「滞在型観光」の強固
な開拓を行います。

- ・ 夜のロープウエー: 10月限定運行・夜景展望(10/19-23)
- ・ 紅もみじライトアップ: 大聖院にて美の競演
- ・ 宮島夜市: 栈橋前広場等での飲食ステージ

03 / 広島市・廿日市市 共同記念事業

「平和」を象徴する原爆ドーム、「歴史文化」を象徴する厳島神社。

2つの奇跡をつなぎ、高める



Source: peace-tourism.com



1. 歴史価値を「伝える」展示・イベント

原爆ドーム周辺と宮島口を含めた宮島周辺に日英2言語による大型パネルを設置し、その価値を語り継ぎます。

- ・ パネル展: 11月～1月開催。被爆前の活気ある建物や、宮島・厳島神社の歴史や保全マナー等を発信
- ・ 専門家講話会: 原爆ドーム周辺での学びの会(3回)
- ・ こどもコーナー: 歴史に親しめる体験・学びエリア



2. 周遊・交流を「促す」プロモーション

2つの世界遺産を結ぶ観光インフラやデジタル企画を活用し、広域での周遊性を最大限に高めます。

- ・ ラッピング路面電車: 8月～12月運行(広島-宮島口間)
- ・ デジタルスタンプラリー: 最大10の観光スポット連携
- ・ マナー啓発イベント: クイズを通して楽しく啓発
- ・ プロモーション: 日英動画制作(4分)、特設サイト開設

04 / フランスプロモーション事業

モン・サン＝ミッシェル市等との絆を深め、
令和11年の観光交流エリア開業を見据えた未来への投資

- **モン・サン＝ミッシェルやパリでのPR:** 世界遺産を抱く海上の聖地として、現地フランスで強固な観光PRを展開
- **平良丘陵観光交流エリア(2029開業予定)への展開:**
新エリア開業に合わせ、地域に本格フレンチレストランの誘致・進出を支援
- **食や文化・経済交流の促進:** 市内産品のPR、ガストロノミーイベントなど食を中心とした交流事業の推進



05 / 「千年先もいつくしむ」持続可能な宮島へ

「MY BOTTLE MIYAJIMA」推進:

観光ゴミの削減とプラごみゼロ運動を連動。オリジナルタンブラーの配布により、観光客自身が保全活動へ主体的に関わる仕組みづくり

宮島訪問税×マナー向上の相乗:

「マナーが美しい宮島」をブランド化。30周年パネル展でも啓発を行い、訪問税による保全意義を来訪者にポジティブに納得してもらう仕掛けづくり

 持続可能な地方創生の先進モデル:

自治体と企業、そして地域住民が一体となることで、「世界に選ばれ続ける最高峰のサステナブルな観光地」を目指す。



千年先も、
いつくしむ。
宮島
MIYAJIMA

未来への投資：事業費内訳と企業のメリット

① 事業費と使途内訳

皆様からお預かりする寄附は、以下の通り適切かつ透明性高く配分・活用されます。

■ 厳島神社 登録30周年記念 独自事業：1,250万円

（夜間拝観、体験学習、宮島夜市、タンブラー制作等）

■ 共同事業実行委員会（広島・廿日市市）：1,250万円

（パネル展、デジタルラリー、ラッピング電車、広報）

■ フランスプロモーション事業：2,500万円

（モン・サン＝ミッシェルやパリでの観光・市内産品PR、ガストロノミーイベント）

合計 5,000万円

※財源の一部に宿泊税を活用

② 企業のCSR・社会貢献メリット

✂️ 持ち出し「実質1割」の軽減効果：企業版ふるさと納税の法人関係税控除等で、最大90%の税が控除されます。